

地域社会とのコミュニケーション

中国銀行では、主たる営業基盤をそれぞれの地域社会と考えており、その地域社会と共存共栄を目指しています。地域社会の活動やイベントにも積極的に参加し、地域金融機関として地域に根差した活動を続けています。

● 金融教育

金融教育の一環として、学生向けに職場見学や出張授業をおこなっています。職場見学では銀行の三大業務や銀行員の1日の仕事について学習したり、模擬紙幣（1億円）を使ったお金の重さ体験等を通じて、銀行を身近に感じてもらおうとともに役割や仕事について理解を深めています。

また、大学コンソーシアム岡山と連携したちゅうぎん「金融知力」講座の開講や、社会人向けライフプランセミナー、確定拠出年金説明会の開催等、金融リテラシーの向上活動にも努めています。



職場見学



JFA100周年表彰状・記念品

● JFA100周年表彰

青少年のスポーツ支援の一つとして「ちゅうぎんカップ岡山県少年サッカー5年生大会」や「ちゅうぎんカップ香川県少年フットサル大会」に冠スポンサーとして協賛しています。本活動等を通じたサッカー界への貢献を評価いただき、2021年度には（一社）岡山県サッカー協会および（一社）香川県サッカー協会の推薦を受けて、JFA（日本サッカー協会）100周年表彰（感謝表彰）を受賞いたしました。

● ファジアーノ岡山 夢パス協賛

地元プロサッカーチームである「ファジアーノ岡山」を支援するため、当行はスポンサーの一つとなっており、今シーズンより「未来を担う子どもたちの育成支援」を目的として、「夢パス」へ協賛しています。

「夢パス」とは、子どもたち（小学1～6年生）の入場料を協賛企業が負担し、子どもたちが無料でファジアーノ岡山のホームゲームを観戦することができる仕組みです。

子どもたちにプロ選手の活躍を実際に観戦してもらい、興奮や感動を共有するとともに、岡山の子どもたちとファジアーノ岡山に、夢に向かって歩み続けてほしいと考えています。

また営業店においては、ファジアーノ岡山の応援Tシャツを着用して営業活動する等の応援活動もおこなっています。

その他地元スポーツチームでは、「岡山シーガルズ」「岡山リベッツ」「トライフープ岡山」等も応援しています。



夢パス協賛



ファジアーノ岡山の応援Tシャツ着用

● 「小さな親切」運動 書道・ポスターコンクール

2006年6月より「小さな親切」運動岡山県本部の事務局を務めており、2021年度も「書道・ポスターコンクール」を開催しました。

岡山県下の国公立・私立の小学校・中学校から書道（322校4,537点）、ポスター（107校701点）の応募があり、教育長賞、「小さな親切」運動岡山県本部賞、優秀賞等を表彰しました。

入選作品については、2021年12月20日から12月26日まで、山陽新聞社さん太ギャラリーにて展示会を実施しました。



「小さな親切」運動 書道・ポスターコンクール展示会場

お客さまとのコミュニケーション

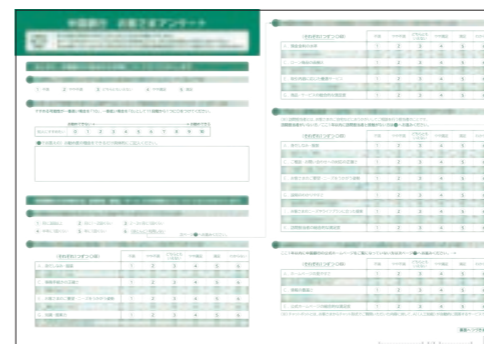
中国銀行では、お客さまから寄せられるさまざまなご意見やご要望を、サービスの向上やより良い商品を提供する際の参考にさせていただいております。

● お客さまのご感想・ご意見カード

店頭へ「お客さまのご感想・ご意見カード」を設置し、お客さまからいただく貴重なご意見を、サービス品質向上に役立てています。



お客さまのご感想・ご意見カード



アンケート

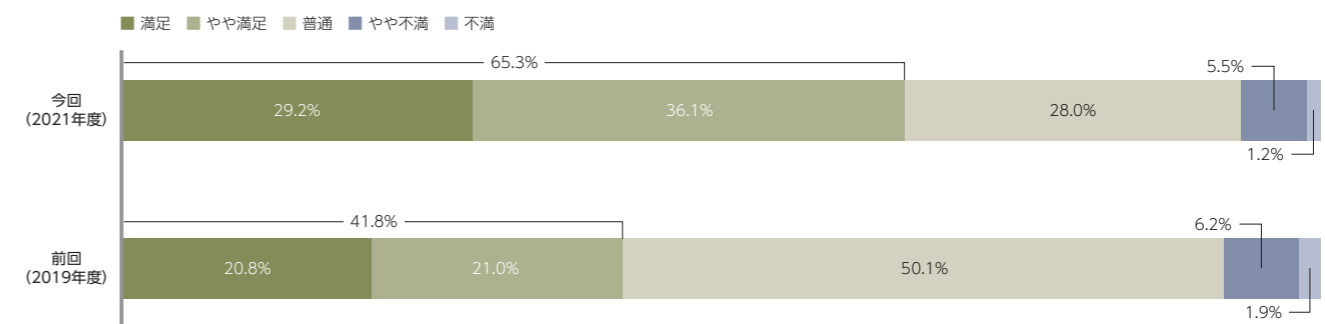
● お客さま満足度調査

お取引いただいているお客さまを対象に「お客さま満足度調査」を実施し、当行とのお取引の満足度をお伺いしています。

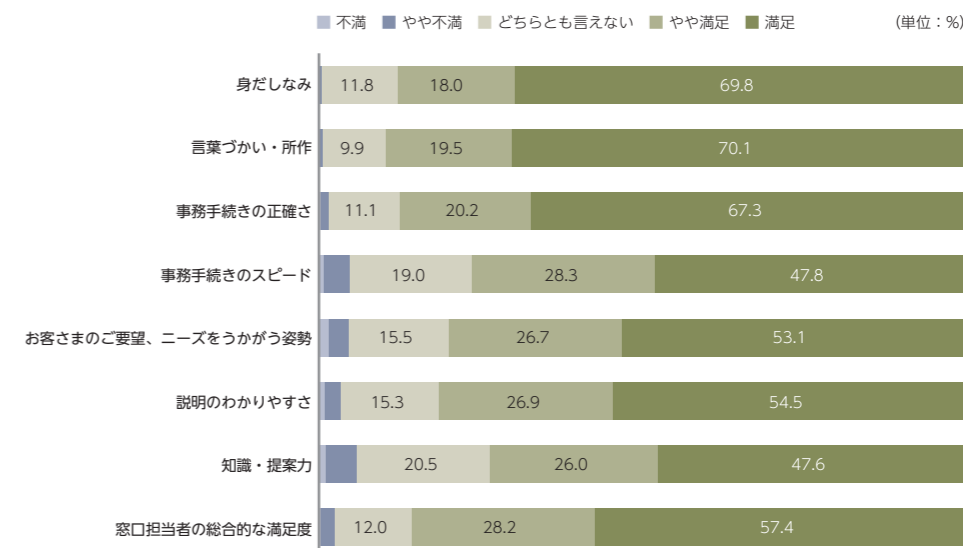
これらで得られたお客さまの声は、今後の業務の改善やサービスの向上に活かしてまいります。

● 「個人のお客さま向けアンケート」結果

お取引いただいている個人のお客さまを対象に郵送およびWebにてアンケートを実施し、当行に対する満足度をお伺いしました。総合的な満足度について「満足、やや満足」の合計は、前回調査（2019年度）から23.5ポイント増加しています。



当行の窓口対応については、「身だしなみ」「言葉づかい・所作」「事務手続きの正確さ」で約9割近くの満足度をいただいています。その一方で、「お客さまのご要望・ニーズをうかがう姿勢」「説明のわかりやすさ」「知識・提案力」「事務手続きのスピード」で改善の余地がある結果となっています。その結果「窓口担当者の総合的な満足度」では約8割以上の満足度をいただいておりますが、さらなる改善に取組み、満足度の向上を図ってまいります。



従業員とのコミュニケーション

中国銀行では、すべての従業員が業務上の責任を果たすだけでなく、業務以外においても積極的に取り組み、業務と生活とのバランスの取れた働き方を実現することが重要であると考えています。

● 当行グループの『今』と『これから』を語る会

役員・本部長などが営業店やグループ会社との情報共有、コミュニケーションの活性化を目的に、2016年度から継続的に開催しています。

現場の従業員と生の意見交換をおこなうことで、従業員が前向きに業務に取り組める環境づくりならびに営業店、本部、グループ会社の一体感の醸成を目指します。

2022年10月に持株会社への移行を目指す当行グループについて、目指す将来像や新たなビジネスモデル、新会社について、参加した従業員から活発な意見が交わされ、有意義な意見交換の場となっています。



当行グループの『今』と『これから』を語る会

● 「TSUBASAダイバーシティ&インクルージョン宣言」制定

TSUBASAダイバーシティ & インクルージョン宣言

TSUBASAアライアンスは、アライアンスの目的のひとつである地域の持続的な成長を実現するため、ダイバーシティ&インクルージョンを競争力の源泉と位置づけ、積極的に取り組んでいくことを宣言します。

- ① アンコンシャス・バイアスを乗り越え、多様な個性・価値観を認め合い相互理解を深めます。
- ② 個の力と意欲を最大限に発揮できる公平性の高い組織・職場環境づくりを進めます。
- ③ 多様な力を結集し、ともに高め合うことで、イノベーションと持続的成長を目指します。
- ④ 各行の相互認識と連携のもとダイバーシティ&インクルージョン推進に率先して取り組み、豊かな地域づくりに貢献します。

当行では2019年に、「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を制定し、ダイバーシティ推進に取り組んでいますが、その取り組みを地銀広域連携の枠組みまで拡大することにより、一層強化し地域社会の持続的な成長へつなげていくため「TSUBASAダイバーシティ&インクルージョン宣言」を制定しました。

TSUBASAアライアンス*の目的のひとつである地域の持続的な成長を実現するため、本宣言にもとづき緊密な連携と協働による活動を推進し、新たな価値や発想を生み出し、多様な個性、価値観を認め合うことで、それを強みに地域・社会課題に解決に資する取り組みを強化してまいります。

今後、連携施策として役職員を対象としたクロスメンター制度や共同研修等を積極的に実施していく方針です。

* 当行、千葉銀行、第四北越銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み

株主・投資家のみなさまとのコミュニケーション

中国銀行では、株主や投資家のみなさまに中国銀行グループをご理解いただき、長期的な信頼関係を構築・維持していくために、タイムリーで適切な情報開示と双方向コミュニケーションの充実に努めてまいります。

● 株主総会

中国銀行では、株主総会の集中日を避けて株主総会を開催しています。また、株主総会の議題を十分に検討いただくため、法定日数よりも早い、株主総会開催日の3週間程度前に招集通知を発送するとともに発送前に招集通知のデータをTDnetおよび当行ホームページ上で公表しています。

なお、英文招集通知につきましては、要約版をTDnetに開示しています。第141回定時株主総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じて、6月24日に開催され116名の株主のみなさまにご出席いただきました。



第141回定時株主総会

● 機関投資家向け会社説明会

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、5月と12月にテレフォンカンファレンス方式で開催しました。参加者は主にアナリスト、ファンドマネージャーで頭取と専務から決算内容、経営戦略等について説明いたしました。なお、当日の資料および音声データ、主な質疑応答の内容は、当行ホームページ上で公表しています。加えて、機関投資家と個別に面談を実施し、決算内容や経営戦略、資本政策等について説明するとともに、意見交換をおこないました。

● 海外投資家向け会社説明会

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、残念ながら開催を見送りさせていただきました。なお、海外機関投資家向けに英文のIR資料を当行ホームページにて公表しております。

● 個人投資家向け会社説明会

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、オンライン開催とさせていただきます。なお、当日の資料を当行ホームページ上で公表しています。

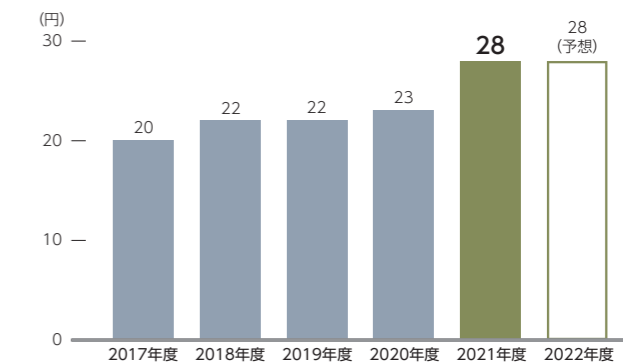
● 株主還元方針

当行は銀行業としての公共性と健全性に鑑み、いかなる厳しい経営環境にも耐えうる財務体質を維持するため、内部留保の充実を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針としています。配当と自社株取得による株主還元率を親会社株主に帰属する当期純利益の35%以上とすることとしており、こうした方針のもと2021年度の期末配当金につきましては、当初予定配当額である期末11円50銭（年間23円）に5円増配し、1株当たり16円50銭（年間28円）とさせていただきます。

2022年度の還元方針につきましては、配当と自社株取得による総還元率を「親会社株主に帰属する当期純利益の35%以上」とし、年間28円（中間14円）を予定しています。

当行の事業年度における配当回数についての基本方針は、中間・期末の年2回としています。これらの配当の決定機関は、

一株当たりの配当金額の推移



中間は取締役会、期末は株主総会です。当行は会社法第454条第5項に規定する中間配当をすることができる旨を定款に定めています。